

第1章 第2次山形県国際戦略

1-1 第2次山形県国際戦略の概要

【策定趣旨】

山形県では、平成27年に「山形県国際戦略」（計画期間：平成27～31年度）を策定し、本県産業の安定的な発展に向け、「質の高い」「多様で豊かな」食の輸出と観光誘客の一体的な推進や、企業の海外展開に対する支援、多様な国際交流の推進など、国際交流、経済交流、観光交流の一体的、総合的な展開を図ってきました。

その間、世界経済においてはグローバル化が加速しており、AI、ロボティクス、IoTに代表される情報通信技術が革新的な進歩を遂げ、人々の生活のあらゆる側面に劇的な変化をもたらしています。

このような中、本県においても国際化、グローバル化の流れを見極めながら、迅速かつ確かな対応を進めるとともに、国際化を意識した施策を戦略的かつ効果的に展開していくことが必要です。

このため、国際情勢等の内外環境の変化等を踏まえ、より一層効果的な国際関係施策を推進するための基本指針として第2次山形県国際戦略を策定し、地域の国際化、貿易振興、観光誘客の推進に総合的に取り組んでいくこととしています。

第2次山形県国際戦略は、県づくりの指針である「第4次山形県総合発展計画」、産業分野のマスタープランとなる「山形県産業振興ビジョン」、「第2次おもてなし山形県観光計画」等と整合性をとって定めています。

また、平成27年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の観点を踏まえて戦略を推進することとしています。

【目指す姿】

世界の活力を取り込み、世界に開かれた山形の実現

- 互いの国籍や民族、文化の違いを尊重しながら、共に暮らす多文化共生を推進するとともに、活力のある地域社会を維持し、そして発展させていくため、海外との多様な交流による県民の国際理解を促進し、郷土愛を育みながら、次代を担う国際的な視野を持った人材の育成を推進することにより、地域の国際化を進める。
- 海外における市場の特性や嗜好を踏まえ、本県が有する質の高い、多様で豊かな食、体験、価値を広く発信、提供することによって、県産品の輸出拡大と観光誘客の拡大を図る。

【取組みの基本方向】

1 世界とつながる環境づくりの促進

○多文化共生の推進、グローバル人材の育成、県民による多様な機会を捉えた国際交流の拡大など、山形県が世界とつながる環境づくりに取り組む。

2 山形の魅力・強みを活かした海外展開

○市場ごとの状況に応じて取組みの重点化を図りながら、県産品の輸出、県内企業の海外取引等の拡大を支援し、本県産業の持続的な発展と地域の活性化に向けて貿易振興に取り組む。

○美食・美酒、温泉、雪と桜のコントラストなどの美しい景観、出羽三山に代表される精神文化など、本県の強みとなる観光資源を、その歴史的な背景とあわせて世界への発信を強化するとともに、滞在につながる魅力的な体験コンテンツの構築や周遊のための受入環境の整備などを進めることにより、観光誘客の拡大に結び付ける。

3 関係機関の連携強化

- 山形県国際経済振興機構、山形県企業振興公社、ジェトロ、東北観光推進機構などの各種団体、金融機関、農業者団体、民間企業、NPO、市町村などの関係団体と連携を強化し、国際・経済・観光の交流拡大に取り組む。
- 国際・経済・観光、それぞれの交流を円滑に進めるうえで、海外の活動拠点や現地コーディネーターは重要な役割を担っていることから、現地関係機関と信頼関係を築きながら、必要とする情報の的確な収集、タイムリーな情報の発信を行う。

【施策の展開方向】

地域の国際化

○多文化共生の推進

- I 言葉・生活・文化の壁を超えた相互理解の促進
- II 多文化共生推進のための態勢整備

○国際交流の促進

- I 多様な国際交流の促進・経済交流への発展
- II グローバル人材の育成

目標指標

多文化理解講座参加者数（累計）	12,000人
若者（20代）の海外渡航者数	13,300人
外国人留学生の県内受入数	455人
外国人留学生のうち卒業生の県内就職率	25%

本県産業の発展に向けた貿易振興

I 県産品の輸出拡大・県内企業の海外取引の拡大

- (1) 重点5地域（台湾・中国・香港・韓国・ASEAN）を中心とした県産品の輸出拡大
- (2) ICTや人的ネットワークを活用した販路開拓等への支援
- (3) ものづくり企業の海外取引等支援の充実

II 国際物流の推進

- (1) 酒田港を拠点とする国際物流ネットワークの強化
- (2) 国際物流の合理化・効率化

目標指標

海外取引を行う県内企業の数	300社
県産品の輸出額 (山形県国際経済振興機構支援分)	570,000千円
県産農産物の輸出関連指標	1,500百万円
酒田港国際定期コンテナ航路貨物量	35,000TEU

インバウンドの推進

I 市場特性に応じた誘客拡大

II 本県の強みを生かしたツーリズムの展開と受入環境の整備

III 本県への移動手段の確保、二次交通の充実

IV 個人旅行客増に対応した情報発信の強化

目標指標

観光消費額（訪日外国人）	20,000百万円
外国人受入数	600,000人
外国人延べ宿泊者数	400,000人

